ニュース専修
●「専修大学」ホームページ●
http://www.senshu-u.ac.jp/
毎月1回15日発行
（定価一部90円）
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3－8
☎03-3265-5819（直）

2010 年頭にあたって

創立150年に向け〝躍動の年〟に

学校法人専修大学理事長・専修大学長　日髙　義博

さらなる「知の発信」で存在感

明けましておめでとうございます。本学は、昨年9月に創立130年を迎えました。これまで、さまざまな創立130年記念事業が展開されてきましたが、いずれも実りあるものとなりました。その豊かな成果は、オール専修の力の結晶と言えましょう。ご支援・ご協力いただきました関係各位に対し、心からお礼申し上げます。

今年の干支である寅にあやかって、本学の歩みも創立150年に向けた雄々しく力強いものでありたいと念じています。4月からスタートします新学部「人間科学部」、それに文学部の新学科「人文・ジャーナリズム学科」を含む7学科編成は、専修大学の躍動に弾みをつけ、幅広い専修人の育成に寄与していくものと期待しています。

18歳人口の激減によって大学改革は待ったなしの状況にあります。現在迎え入れている学生の質をいかに保証するかという喫緊の課題の解決だけでなく、7、8年後に迫っている18歳人口のさらなる減少をも見据えた、骨太の大学改革の実行が必要になってきています。これからの創立150年までの20年間は、まさに大学改革の時代であります。とくに18歳人口が平坦に移行することで7、8年の間に、専修大学の人的・物的基盤を確たるものにしておかなければなりません。生き残りをかけた大学間競争の中にあって、大学としての品格を保持しながら、「礎固し」と校歌に歌われた人間教育の場を次の世代に渡していくのは、第5世代の専修人の責務であります。

教育・研究の拠点であるキャンパスの整備については、7、8年後の18歳人口のさらなる減少と大学定員の変動を考慮にいれ、かつ財政状況の推移をも熟慮した上で、計画的かつ段階的に進めるべきだと考えています。生田キャンパス、神田キャンパス、石巻キャンパス、それぞれ固有の課題を抱えています。相互の連携をどう取っていくかも大きな問題です。中期的な展望に立って、総合的な問題解決を図りたいと思います。神田キャンパスについては、建て直しの時期が迫っており、生田キャンパスにあってはキャンパス内の動線を描いた上での校舎の配置が必要です。神田及び生田の両キャンパスについては、現在の校地を前提にしてどの程度の規模のものが考えられるのか、いわゆるキャンパス構想の試案を21年度中に提示したいと考えています。試案は、あくまでもキャンパス構想のたたき台です。なによりも予算の裏付けが必要ですし、今後の学生数及び教職員数をどう措定するのか、建物をどのように使うのか、その教育内容はどんなものか、といったソフト面での検討もなされなければなりません。まずは試みに、ハード面において、どの程度の整備が物理的に可能なのかを粗々描いてみようとするものです。したがって、構想を実現する上で検討すべき事柄は山ほど残されていますが、中期計画の下でキャンパス整備に取りかかる決意を表明したいと思います。

今年も、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭におき、本学の21世紀ビジョンである「社会知性の開発」を推し進め、「知の発信」によって専修大学の存在感を高めていく所存です。パワフルで実り豊かな一年であることを祈り、新春のあいさつと致します。

主なニュース

合格者インタビュー（司法試験・公認会計士試験）／合格者祝賀会……❸
校友会主催・留学生を囲む会／箱根駅伝・応援に感謝する会……❺
キャリアデザインセンター課題解決型インターンシップ報告……❼
石巻専修大学　坂田隆学長・年頭の抱負／専大北上高と協定……❽
北海道短大　新学長に寺本千名夫教授が就任……❾
キャンパスライフ充実のカギに―学生相談室……❿

テレホンサービス
（お知らせ・緊急連絡）
0180-994-994
本紙へのご意見をお聞かせください
koho@acc.senshu-u.ac.jp

「歓喜の歌」高らかに

専修大学創立130年記念「第九」特別演奏会

「ブラボー」――。専修大学創立130年記念「ベートーベン第九特別演奏会」が12月5日、川崎市のミューザ川崎シンフォニーホールで開催され、専修大学の祝祭合唱団とフィルハーモニー管弦楽団（布施達志団長）による歓喜の歌声が、1700人の聴衆を包み込んだ。

▲　ミューザ川崎シンフォニーホールで（撮影はいずれも三好英輔氏）

〝炎のマエストロ〟迎え「専フィル」と「祝祭合唱団」280人

公演はベルリオーズのラコッツィー行進曲（指揮・三河正典氏）演奏、日髙義博理事長・学長のあいさつ、専修大学校歌（指揮・同）演奏のあと、指揮者に〝炎のマエストロ〟小林研一郎氏、ソリストに菅英三子（ソプラノ）、谷口睦美（メゾ・ソプラノ）、大槻孝志（テノール）、青戸知（バリトン）の4氏を迎え、1時間10分にわたり「第九」を披露。

小林研一郎氏から長年指導を受けているアマチュア混声合唱団の武蔵野合唱団100人が共演。祝祭合唱団73人に加え「180人編成」のコーラスとなった。

▲　タクトを振る小林研一郎氏

フィナーレの「歓喜の歌」では、大合唱の熱気と管弦楽の沸き立つ若さが一体となり会場に響き渡った。演奏終了と同時に拍手が会場を包み、鳴り止まなかった。

「専フィル」メンバー100人は1年半以上にわたって「第九」の準備を重ねた。

祝祭合唱団は学生、ご父母、卒業生、教職員らと多摩区民から公募。今年6月に練習を始めたメンバーは、合唱未経験者が多かったが、パート決め、音取り、発声法、ドイツ語の発音練習、音楽的表現法……と猛特訓を受けた。この日の本番では総員がその成果を十分に発揮した。

「専フィル」コントラバスの関原花穂里さん（文4）は「第九は夢でした。しかも専大最後の年に小林先生の下で最高の演奏を経験できました。先生には音楽のカベの向こう側を見せていただき、積み重ねてきたものが一気に広がったと思います」と充実感いっぱい。

祝祭合唱団に参加した育友会副会長の青木みどりさんは「初心者でもやる気があれば大丈夫と言われ、奮起しました。電車の中でも『フロイデ、フロイデ』と口ずさみ、周りの視線を浴びたのも懐かしい思い出です。練習は発見と感動の連続でした」と、笑顔で話した。

祝祭合唱団練習で、6カ月にわたって伴奏したピアニスト三枝美佐さんは「最初の日は、自分のパートもわからない団員がピアノの前にぞろり。『どうなることやら』と心配しました。でも回を重ねるごとにメキメキと力をつけ見事な本番を迎えられたと思います。なによりも合唱に対する純粋さ、ひたむきさに感動しました。皆さん、自分自身に拍手してあげてください」と合唱団をたたえた。

スカラシップ・全国入学試験
一般前期入学試験
出願受付中
※出願期間は、入学願書またはホームページでご確認ください。
入試トピックス
トピックス1
スカラシップ・全国入学試験が変わります。
①一部全学部・全学科で実施します。
②宇都宮、高崎、静岡会場が新たに加わります。
③スカラシップ入学試験の選考方法が変わります。
筆記試験（英語・国語・選択科目）の合計点に基準点を設け、志望理由書を参考として合格者を決定します。
トピックス2
全学部統一入学試験を人間科学部心理学科でも実施します。全学部統一入学試験は、文学部を除く、全学部での実施になります。
入学センターインフォメーション（SAIC）
［神田キャンパス］TEL03-3265-6677
［生田キャンパス］TEL044-911-0794
http://www.senshu-u.info